

河野内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）発言

（令和5年4月14日 参議院・消費者問題に関する特別委員会）

企業がもうかって、その果実を労働者、従業員に分け与えると、従業員も消費者ですから、消費が増えて更なる経済成長につながっていく、そういう、何というんでしょう、成長と分配の好循環というものをつなげていくのが賃上げなんだというふうに思っております。

この物価上昇に負けない賃上げを実現するためには、この賃上げのためのコストが適切に価格に転嫁できるというこの環境がつかれるかどうかというのが非常に大事で、消費者の皆様には、この賃金上昇が巡り巡ると物価上昇をもたらし得る、逆に言うと、物価が上がることも賃金上昇につながるんだということを見ていただく必要があるんだと思います。

賃上げで、それを転嫁すると物やサービスの値段が上がりますが、物やサービスの値段が上がったから一概にそれでやめようとかほかに行こうということじゃなくて、やっぱり、行き付けのお店だったり自分の推しの商品というものはやっぱり応援するつもりで大事にしていきたいというふうに思っておりますし、その自分の推しのお店、商品を提供してくれるその裏側にいる人たちのことにも思いをはせていただくということも必要なんだろうと思っておりますので、そういう認識を広めていくためにいろんな手段があると思いますが、そういうことを少し消費者庁としてもにじみ出していきたいなというふうに思っております。